

輸送動向について(12月分)

平成 18 年 1 月

1. 輸送概況

今月は、中旬以降、日本海側を中心とした各地で記録的な大雪による輸送障害が断続的に発生した他、下旬には羽越線での旅客列車の脱線・転覆事故等の影響により、高速貨 377 本、専貨 27 本が運休した。このため、迂回列車の運転や曜日運休列車の復活運転等を行い輸送力の確保を行った。

荷動きについては、発送が強勢となる中旬以降に連続して輸送障害が発生した影響により、輸送を他モードに転換する顧客も一部に見られ、輸送量全体では前年比 105.4%と前年を上回ったものの、実績は低調に推移した。

コンテナ貨物では、食料工業品や積合せ貨物等が前年を下回ったものの、車扱からの転換により増加となった紙パルプ等の他、自動車部品や化学薬品等が前年を上回り、コンテナ全体では前年比 101.4%となった。

車扱貨物では、紙・パルプが減少したものの、気温が前年を大きく下回った影響により、灯油を中心に石油の発送が強勢となり、列車の復活運転をおこなった結果、前年を大きく上回り、車扱全体では前年比 110.7%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,982	1,955	101.4%	16,907	16,656	101.5%
車 扱	1,648	1,490	110.7%	10,596	10,543	100.5%
計	3,631	3,445	105.4%	27,503	27,199	101.1%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増 減	前年比
コンテナ	農 産 品	103	98	5	105.1%
	生野菜青果物	99	95	4	104.2%
	化学工業品	184	185	-1	99.5%
	化学薬品	153	143	10	107.0%
	食料工業品	324	333	-9	97.3%
	紙パルプ等	309	280	29	110.4%
	他工業品	134	135	-1	99.3%
	積合せ貨物等	235	245	-10	95.9%
	自動車部品	53	40	13	132.5%
	工コ関連物資	39	42	-3	92.9%
	その他の	349	359	-10	97.2%
コンテナ計	1,982	1,955	27	101.4%	
車 扱	石 油	1,152	1,017	135	113.3%
	セメント	120	110	10	108.9%
	石灰石	61	58	3	105.4%
	車 両	170	152	17	111.5%
	紙・パルプ	32	38	-6	85.2%
	化学工業品	51	51	0	100.3%
	その他の	62	63	-1	96.9%
車 扱 計	1,648	1,490	159	110.7%	
合 計		3,630	3,445	186	105.4%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)